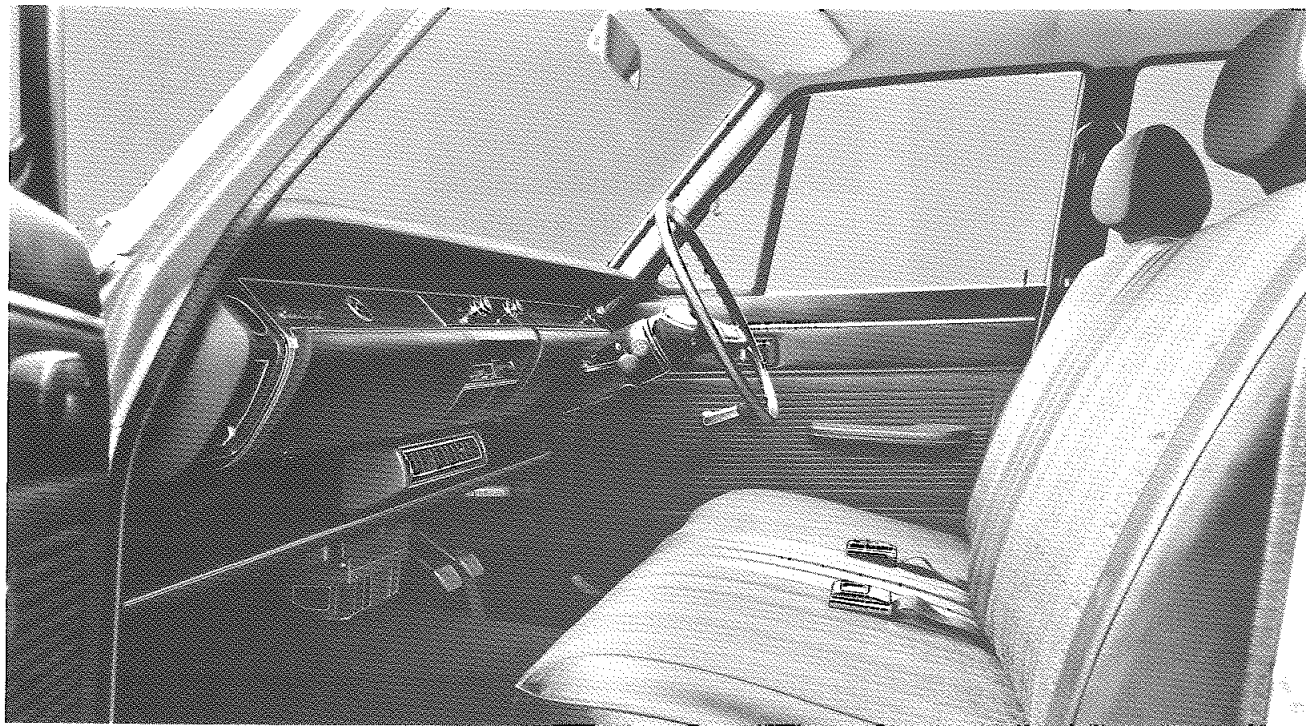


内装関係

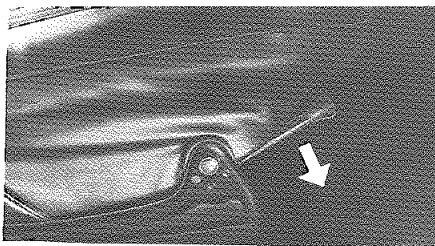
CORONA *MARK II 1700 / 1900*



シート

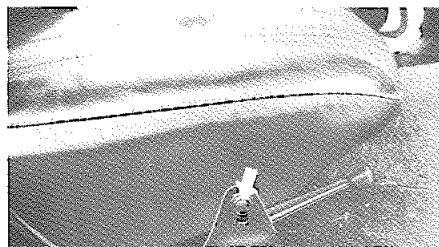
■フロント・シートの前後位置調整

ベンチ・シートの場合



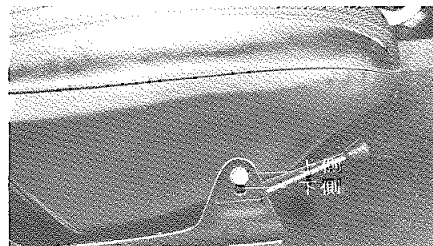
シートの前後位置調整は、シート下のレバーを外側に引いて行います。レバーを引いているあいだ、シートを前後することができます。

■フロント・シート背もたれの角度調整



シート・バッグの角度は上側の穴は、シート・バッグが後側に、下側の穴は前側に調整できます。

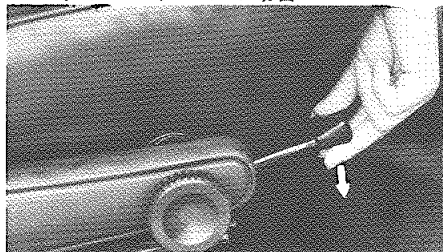
写真の矢印のところの黒いキャップをはずし、シートの取付ボルトをシートの右側、左側ともはずします。



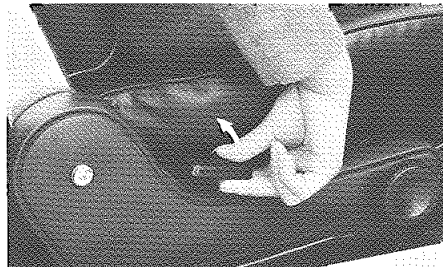
取付け穴の位置がきまりましたらボルトを取付け、スパナで十分に締付けてください。

次にボルトの頭に黒いキャップをつけま

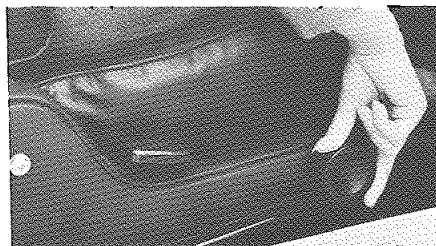
■バケット・シートの場合



レバーを外側に押ししている間、シートを前後に動かせます。レバーから手をはなすと、シートは固定されます。

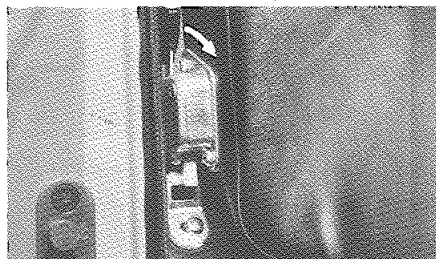


ロック・レバーを引さあげてシート・バック〈背もたれ〉の傾斜角度が調整できます。シート・バックは前後18段に調整できます。

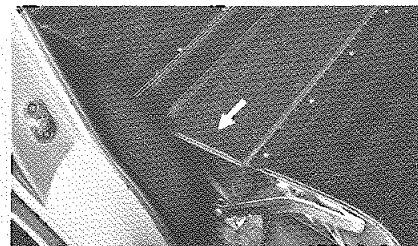


運転席側シートはダイヤルを左にまわして、シート高さを上下二段に調整できます。シート高さが決まったらダイヤルを右にまわしてシートをロックします。

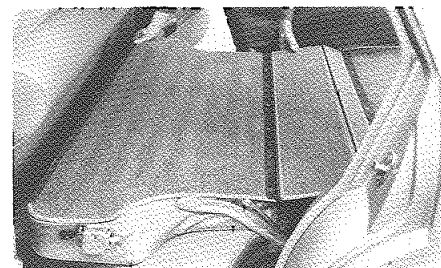
■リヤ・シート〈ワゴン〉



シート・バックは前に倒すことができます。リヤ・ロック・レバーを前側にいっはい引き、シート・バックを倒します。



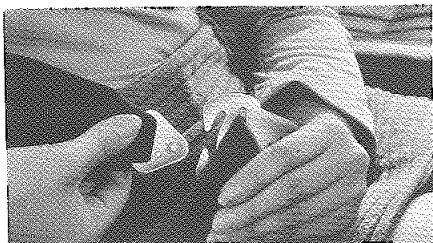
シート・バックを前に倒したときは中央部のパネルを押さえつけて、シート・バックを固定します。



シート・バックを起こすときには中央部パネルを持ち上げて起こします。

シート・バックを後に押さえつけると自動的に固定されます。

■セフティ・ベルト

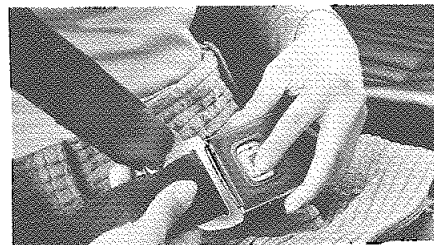


セフティ・ベルトを装着するには次のようにします。

1. 肩掛けベルトをバックル・プレートにさしこみ、セットする。
肩掛けベルトの長さの調整は、ベルト上部で行ないます。
2. バックル・プレートをバックルに押し込んでセットする。
3. ベルトの長さの調整を行なう。



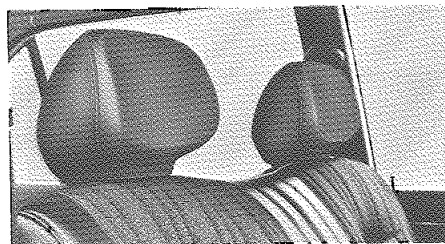
調整は、ベルトに対しバックルを直角に持ち、ベルトの端を引いて行ないます。



ベルトの取りはずしは、バックルのボタンを押してロックをはずします。
肩掛けベルトは、バックル・プレートに取り付けたままで、はずす必要はありません。
リヤ・シートにもセーフティ・ベルトがオプションで取り付けられます。

■ヘッド・レスト

万一、追突事故を受けたときに、大きなショックから頭や首を保護します。
このようなときにヘッド・レストの効果を充分発揮させるために、後方の視界を妨げない範囲で、ヘッド・レストの上端を耳の高さより少し高く調整し、運転中はヘッド・レストに頭を近づけるように心掛けてください。



ヘッド・レストの不要なときは、ヘッド・レストを前に押えながら引き抜くこともできます。

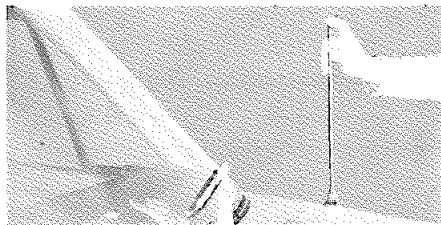
装備品

■ラジオ

ラジオは、エンジン・スイッチがONかACCのときに聞くことができます。

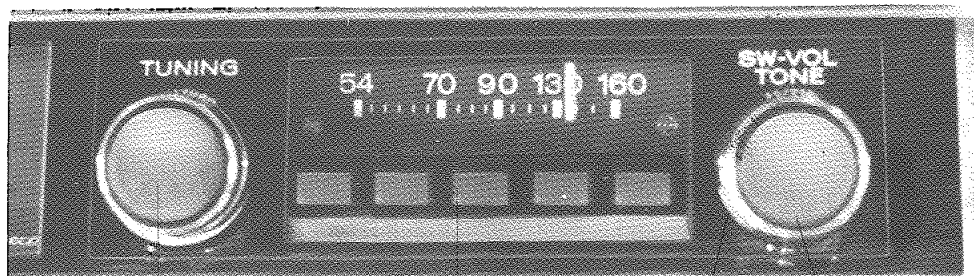
スイッチとアンテナ……スイッチを押すと、電源が入り、同時にアンテナが1段目までとび出します。

もう一度スイッチを押すと電源が切れます。このときアンテナは下がりません。アンテナは、手で長く引っぱり出せますが普通なら一段目で充分です。



電源スイッチ

右側のスイッチを押すと電源が入り、ア



選局ダイヤル

選局ボタン

音質調整つまみ

スイッチとボリューム

ンテナの一段目が飛び出します。

もう一度押すと電源は切れます。ボリュームの調節は、電源スイッチを回して行ないます。

選局のしかた

左側の選局ダイヤルを回し、放送局を選びます。またあらかじめ選局ボタン、セットしておいた局は、ボタンを押すだけで選局できます。

選局ボタンのセットのしかた

適当なボタンを一つ引き出し、選局ダイヤルで最もよい位置に合わせ、ボタンをいっぱい押し込みます。

あとは選局のダイヤルがどこにあっても、このボタンを押せばセットしておいた局が選局できます。

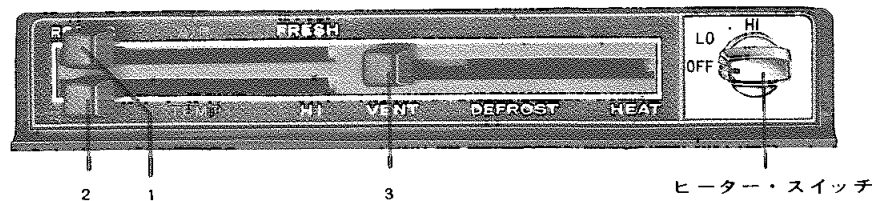
他のボタンも同じ要領で、他の局にセットしておくとも便利です。

音質の調整 (トーン)

電源スイッチ外側の音質調整ツマミ、
を適宜回すと、音質調整ができます。

■ヒーター

ヒーターの操作は下記のとおりです。



レバ ー 類	操 作 位 置
ヒーター・スイッチ	OFF LO HI 弱 風 中 強 風
①内外気切替レバー	RECIRC ←————→ FRESH 内気循環 外気導入
②温度調整レバー	LO ←————→ HI 温度が低い 温度が高い
③風出口切替レバー	VENT ↔ DEFROST ↔ HEAT 空気循環 ↔ ガラスの曇り止め ↔ 室内暖房

室内が暖まりすぎた場合はサイド・ベンチレーター的位置よりON（開）の位置にすれば窓ガラスをあけなくて次第に適温にすることができます。

夏期、くもり止めに使うには暖房を入れないでフロント・ウィンドウのくもり止めをしたい場合はヒーター・スイッチを入れ①をFRESH、②をLO、③をDEFROSTにしてください。

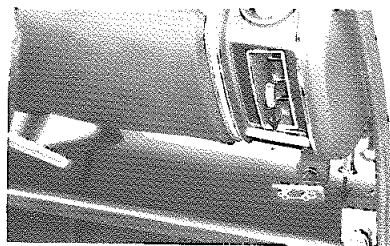
〈強制ベンチレーション〉

夏期にはベンチレーションとしても使用できます。

ヒーター・スイッチを入れ①をFRESH、②をLO、③をVENTにしてください。お車が停止していても、ヒーター・モーターを利用して車外の新鮮な空気が導き入れることができます。

吹出し口の角度を変えて風向を変えることができます。

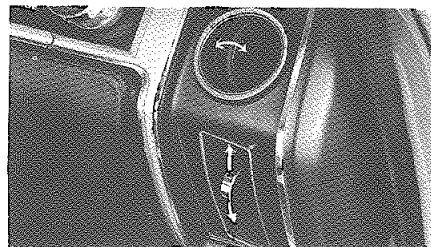
■カウル・ベンチレーター



ベンチレータ・ボタンを引くとルーバーからの車外の空気が入ってきます。

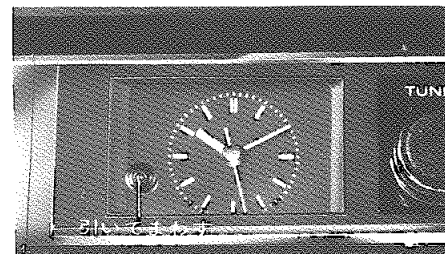
ルーバーからの風向きは、バルブの向きを変えると上下左右に変えられます。

ルーバーからの風が不要のときは、バルブを閉じます。



サイド・ベンチレーターの風向きはつまみを上下左右に動かして行ないます。

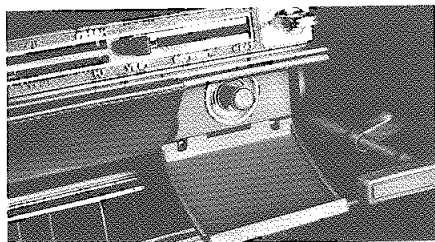
■時計



電気時計です。

時刻の調整は、つまみを引いてまわして行ないます。

■シガレット・ライター

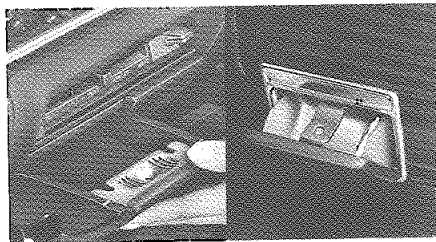


カバーは上側を手前に引いてあけます。シガレット・ライターを押しこんでください。しばらくすると自動的に元の位置まで飛び出します、このとき、ライターを抜き出してご使用ください。

◀注意▶

ライターを押し込んだまま押さえていると、ライターをいためるもとになりますから、押し込んだら手をはなしてください。

■灰皿



フロント：

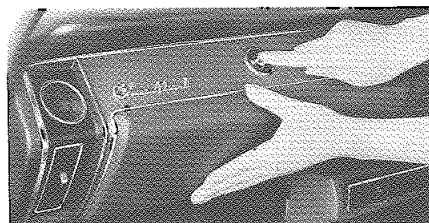
灰皿の下側に手をかけて引きだします。清掃するときは、下に押さえるようにして引き出します。

リヤ：

清掃するときは、タバコ消しを押えてはずします。

灰皿を取り付けるときは、フロント、リヤともに下側の二つの突起をボデー側と合わせてタバコ消しを押えながら押し込みます。

■グローブ・ボックス ◀計器盤左のもの入れ▶



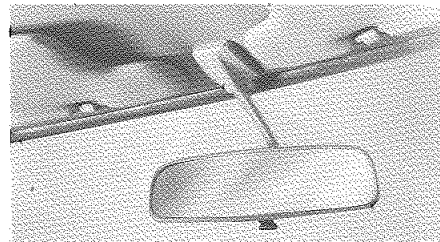
ボタンを押して開いてください。

グローブ・ボックス上壁のマップ・ホルダーを利用して、車検証などを入れてください。

ソケットにはいつも電気がきています。インスペクション・ランプを差し込めば点灯します。

デラックス車はライト・コントロール・スイッチがONのとき、ふたを開くとマップランプがつきます。

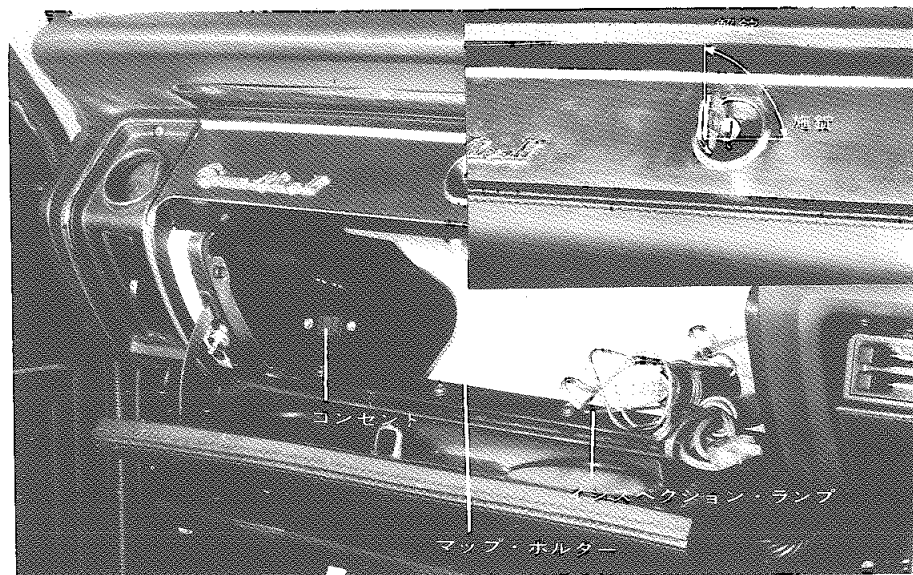
■ リヤ・ビュー・インサイド・ミラー



ミラーは自由に角度を変えることができます。運転しやすい位置に調整してください。

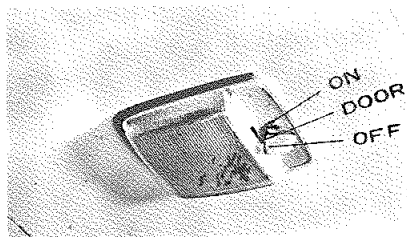
防眩式ミラー〈GL・GSL車〉

夜間、後続車のライトがインサイド・ミラーに写り、眩しいときに使用します。ミラー下にあるレバーを手前に引くと後続車のライトの反射が弱くなり、後続車も確認でき、安全運転ができます。防眩が必要なくなったときはレバーを押してもとの位置にします。



グローブ・ボックスの施錠、解錠はマスター・キーで行ないます。キーの抜き差しは、写真の旋錠、解錠の位置でできます。

■ルーム・ランプ



DOORの位置では、ドアを開けたときにランプがつきます。

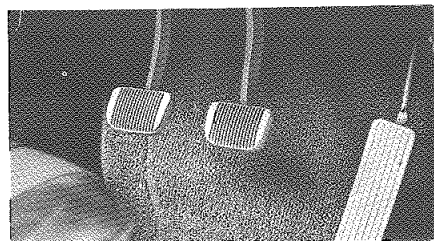
ONの位置ではいつもランプがつきます。

■フロア・カーペット

フロア・カーペットをはずすには、

1. アクセル・ペダルをはずします。ペダルの上側を押さえ、下側を引いてはずします。次にペダル上側を下に押さえるようにして、ペダル裏側のワイヤーをアクセル・リンクからはずします。ペダルを取りけるときは、ペダル裏側のワイヤーをアクセル・リンクに掛けてからペダル下側の二つの溝にボデー側のノブを合わせて前方に押し込みます。
2. フロア・カーペットをはずします。

フロントのカーペットは計器盤下前方がマジック・ファスナーで止めてあります。フロント・シートの下はワイヤー・フックがついていますのでワイヤー・フックをはずしてから取外します。

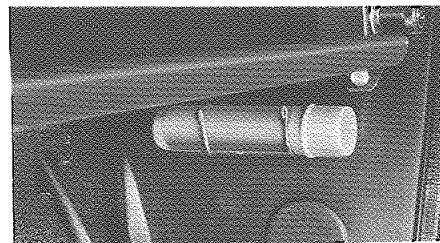


リアのカーペットは後側がワイヤー・フックで止めてありますので、ワイヤー・フックをはずして取外します。

＜注意＞

スタンダード車のフロア・マットは、フロント・マットの後側にはワイヤー・フックがついていません。

■保安炎筒＜発炎筒＞



保安炎筒は踏切り内での故障など非常事態が発生したときにご使用いただく非常信号用具です。

保安炎筒は運転席足元、右側に取付けてあります。外すときは上に押し上げてワイヤー・クランプから外します。使用方法是保安炎筒に書いてある説明をよく読んで万々に備えてください。

＜注意＞

保安炎筒には有効期限があり、本体底部に明示されていますのでご注意ください。